

当事者ヒアリング（久々野つどいの広場）

【日時】 令和6年7月25日（木） 午前10時30分～11時40分

【場所】 久々野つどいの広場「なかよしランド」

【出席】 親子5組、子育てコーディネーター2名、図書館職員1名、市職員3名

【概要】

令和6年度末の「こども計画（仮称）」策定に向け、子育てコーディネーターと調整し、つどいの広場での読み聞かせ後のカフェタイムのなかで時間を取っていただき、簡単な趣旨説明の後、各自、想いを発言してもらった。

各自から発言いただいた後、向こう5年間の「計画」を作る大事な時期であることを再確認し、本日言い足りなかったこと、後日家族や友人と話す中で思いついたことなどは、市へ直接メールやコーディネーターを経由して市に伝えてもらうことを依頼して終了した。

【詳細】

○参加者 →市

○真夏、花粉や黄砂の時期には、外の公園で遊ぶのは難しいため、岐阜市にあるような、体を動かして遊べる室内の遊戯施設がほしい。

→屋内の遊び場がほしいとの声は多くの皆さんからいただいております、駅西複合多機能施設の整備のほか、つどいの広場への体を動かして遊べる遊具の設置を検討している。

○公園で遊ぶ際に、涼めるような日陰のスペースを増やしてほしい。

→日陰についても多くの声をいただいております、整備の際には意識している。リニューアルした赤保木公園のセンターハウスはプール開設期間外も解放しており、日陰スペースとしても活用いただきたい。

○新たな公園整備への期待が地域では強いため、ぜひ後押ししてほしい。

○来月2歳になるこどもがいるが、同年代と比べ発言が少なく不安である。保健師からは2歳児健診で詳しい状況をみて判断するため待つよう言われているが、待っている間とても不安で何らかフォローしてもらえる仕組みがあるとありがたい。保健師は話を聴いてくれるが、もう少し具体的な支援が得られると良い。

○昔は子育てに不安な人や障がいがあるこどもを育てている親が集まり意見交換をする「ひよこ学級」などがあったが、そういった活動があると不安解消に繋がるのではないかと。

○久々野保育園の「おひさま教室」に見学に行ったり、先輩ママを呼んで意見交換する機会などもあったが、そういった会が再びできると良いのでは。

○妊婦教室など保健センターで知り合った母親で集まり、いろいろな話ができて大変助かった。市が開催する時は保健センターを会場に使えるが、同じメンバーで自主的に集まろうとした時には場所の確保に苦労したため、場所の充実や情報提供を進めてほしい。

→つどいの広場や児童館、子育て支援センターなどもぜひ利用いただきたい。

○産後ケアを利用させてもらい、大変ありがたかったが、助産師から「忙しくて1度しか声をかけられず申し訳ない」と言われた。都市部では産後ケア事業を専門の施設で担っているところもあるが、高山市では産後ケアと通常業務が兼務のためスタッフの手が不足している印象を受けた。助産師をはじめスタッフが充実し安心して事業を利用できる環境になると良い。

→産科の他、小児科などの医療についても、医師の高齢化が進むなど課題が大きいと感じている。

○富山県から引っ越してきたが、高山市では不育症治療に対する助成が受けられない。不妊治療に対する助成はあるが、こどもを増やしたいのであれば不育症治療に対する助成も考えてもらいたい。

→市議会でも質問があったと記憶しており、富山県など他の自治体の取組などについて研究したい。

○0歳と1歳のこどもを連れて市役所2階(雇用産業創出課)へ申請書を提出に行った際に、添付書類が不足していたため1階のコピー機で印刷してくるよう指示された。小さいこどもを2人連れての移動はとても辛かったため、窓口でコピーをしてもらえるとありがたい。

→小さいこどもを連れての移動は大変で、意見はごもつとも感じる。こども未来部ではそのような対応をしておらず、所属により差がある部分と考える。オンライン化によりそもそも窓口に行かなくても手続きが済ませられるような環境整備も進めているが、寄り添った対応となるよう各課に声をかけていきたい。

(R6.7.26開催の庁内の推進会議で意見を紹介し各課に対応を依頼した。)

以上